

悠遊苑だより



第276号 令和6年8月
医療法人立川メディカルセンター
介護老人保健施設 悠遊苑
施設長 立川 浩



8月：「豪華絢爛、悠遊花火、打ち上げ開始でございます」
絵の具で自由に描いたものをはさみで切り、様々なデザインの花火を作りました。
花火をたくさん集めたら、こんなにも色鮮やかな仕上がりになりました。
悠遊苑では、通所リハビリやエレベーター前にも花火があがっており、夏を盛り上げています。

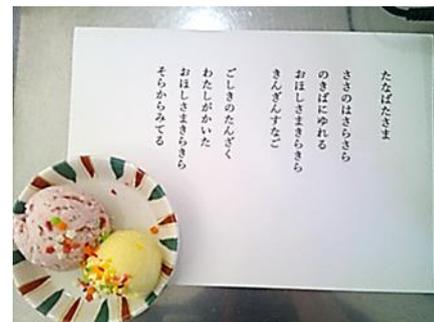
作製：3階入所者の皆さん

悠遊苑 7月の行事

2F 夏の風物詩である七夕。折り紙で作った飾りや短冊を、笹の葉に吊るしてもらいました。飾りつけの後は、皆さんで七夕の歌を歌いました。短冊には、「歩けるようになりたい」や「100歳まで頑張りたい」などの願い事が書かれていました。



3F 七夕の飾り付けを行いました。短冊に願い事が叶うように皆さんに飾りつけを行ってもらいました。おやつにはアイスクリームを準備しました。暑かったので皆さん美味しそうに食べられていました。



今後の行事予定

2F 8/7(水) 15:00~

「缶で数字消し~的に向かって缶を転がそう~」ゲーム

3F 8/7(水) 14:30~

パリ五輪にちなんで、ミニ運動会の予定です。

ご家族の皆さんへ

お盆期間の入浴について、職員の勤務体制が手薄になりますので、以下のようにさせていただきます。

8/12(月・祝)、8/13(火) 入浴休み

8/14(水)～8/16(金) 通常入浴

8/17(土) 入浴休み

ご迷惑おかけしますが、ご理解・ご協力をお願いいたします。

ご不明な点はお問い合わせください。

利用者の方より

魚沼通信 Vol.110 細井 昭 様 #くり

8月 くり

雌雄同株の落葉高木。雄花は甘い匂いが強く、雌花は違う品種と受精すると果実になります。動物に食べられることから逃げるための固い果実で、「イガ」を取り除くと、「鬼皮」「渋皮」で包まれています。資材として、工芸品や屋根葺き、枕木、椎茸の原木などに利用されます。



～栄養科だよ！～



8月のイベント

8月6日(火)
お楽しみ献立

楽しみにお待ちください。

梅雨が明け、今年も猛暑日が続いています。

脱水や食欲低下を起こしやすい時期です。こまめに水分を補給し生活リズムを崩さないよう心掛けましょう。

トマト、胡瓜、茄子、すいか等は夏野菜特有の体を冷やす働きがあります。旬の食材を美味しくいただき、暑い夏も元気に乗り切りましょう。

～ご紹介～



【7月のお楽しみ献立】

7月18日(木) は、お楽しみ献立の日でした。

- ・あさりの炊き込みご飯
- ・とろろ昆布の澄まし汁
- ・穴子と野菜の炊き合わせ
- ・茄子とトマトの香味和え
- ・すいか

旬の食材満載の趣向を凝らしたメニューで、大変好評でした。

今月もイベント献立を予定しております。楽しみにお待ち下さい。





通所リハビリテーション

今月の悠遊画廊

7月の月間行事

4月～8月まで曜日対抗戦ゲーム「ストロー集め」を行っています。

7月は11日に火曜日チームが実施しました。

みなさん集中してストローをカップに移されていました。

いよいよ8月は金曜日チーム、最終月です。頑張りましょう！



野菜がたくさん
実りました。

リハビリ☆コラム No.135

脳卒中片麻痺の足装具～装具の目的と種類～

そく 装具って？

病気やけがなどで機能を失った手足の補助をし、日常生活をサポートする補助器具です。

例えば、脳卒中による後遺症として体の片側に麻痺が残ると、立つことが不安定になったり、歩くときに足先が下がり転びそうになったりします。そのような症状をサポートするために処方されることが多くあります。ご自宅で使っている方もいらっしゃるのではないのでしょうか？

今回は、脳卒中片麻痺の足装具をテーマに【装具の目的と種類】【安全に使うためのチェックポイント】【破損した場合】について3回にわたり、ご紹介したいと思います。

装具を作るには？

身体障がい者手帳や各種医療保険などの公的制度を利用して作成することが可能です。その場合は医師の処方が必要なため病院の外来などの受診が必要です。

よく作成される脳卒中片麻痺足装具の種類



金属支柱型
短下肢装具

足関節の動きをコントロールする為の装具。金属支柱により強い制限力が得られる



プラスチック製
短下肢装具

つま先が下がらないように足関節を固定し歩きを補助する軽量で装着が簡単



ゲイトソリューション
デザイン

油圧制御式の足関節継手により歩きをよりスムーズに補助する



オルトトップ AFO

足先の上がり補助する軽度の麻痺の方に適応

この他にも沢山の種類の装具があります。医師・理学療法士・義肢装具士が使う方の身体の状態や生活スタイル等を考慮して適切なものを選定しています。

次回は「装具を安全に使うためのチェックポイント」です。